IR

第45期第1四半期
営業のご報告

2008年4月1日～6月30日

株式会社あじかん

TOPICS トピックス

第44期定時株主総会 原案どおり承認可決

2008年6月27日(金)午前11時から、広島市西区にある広島サンプラザにおいて、あじかんの第44期定時株主総会を開催いたしました。

議決権を行使された株主さまは553名で、そのうち当日議場にご来場いただいた方は79名、議決権行使比率は89.5%となりました。

総会の所要時間は48分で、議案は全て原案どおり承認可決されました。

【株主総会の目的事項】

■ 報告事項

1.第44期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件

2.会計監査人および監査役会の第44期連結計算書類監査結果報告の件

■ 決議事項

第1号議案／剰余金処分の件
第2号議案／取締役7名選任の件
第3号議案／監査役1名選任の件
第4号議案／退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件
第5号議案／役員賞与支給の件

■ 新体制のご紹介

取締役の改選期であった本総会では、これまでの取締役5名に加え、経営体制の一層の強化を図るため、新たに豊田 太氏、江角 知厚氏の2名を増員した7名が選任され、それぞれ就任しました。

なお、本総会終了後に開催された取締役会において代表取締役・役付取締役が、監査役会で常勤監査役が選定され、それぞれ就任しました。

◎新たな役員の陣容は次のとおりです

代表取締役社長	足利 政春
専務取締役	中谷 登
常務取締役	松岡 宣明
常務取締役	白川 秀喜
取締役	足利 恵一
取締役	豊田 太(新任)
取締役	江角 知厚(新任)
常勤監査役	行武 禎一
常勤監査役	諏訪 徹(新任)
監査役	山本 英雄

業界情報

《株券電子化制度への移行》

「単元未満株式の買増し・買取請求手続きをお願いいたします」

ご存知のとおり、'09年1月(予定)に上場会社の株式が一律に電子化(ペーパレス化)されます。株主のみなさまには、再度、1単元株(当社は1単元が500株)に満たない株式、つまり、単元未満株式(1～499株)の買取・買増し請求のお手続きについて、ご案内いたします。

◎制度移行に際しての単元未満株式の取扱い

当社の単元未満株式は、現在、株主名簿に登録されるだけの登録株式の扱いとなっており、現物の株券が存在しないため、制度移行前は証券保管振替機構へ預け入れることができません。

株主のみなさまには、単元未満株式の買増し・買取請求手続きについてご案内いたします。

特に手続きを行わなければ、制度移行後に当社が開設する「特別口座」へ一旦登録され、それから個人口座への振替手続きや買増し・買取請求を行っていただくことになりますが、移行日前後は、窓口が混雑することが予想されますので、できるだけお早目にお手続きを済まされることをお勧めします。

買増し・買取請求に関するお問い合わせ先

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話／0120-094-777(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
【各種手続用紙のご請求】	電話およびインターネットで 24時間承っております
電話(通話料無料)	0120-244-479(東京) 0120-684-479(大阪)
ホームページアドレス	http://www.tr.mufg.jp/daikou/

買取・買増し請求のお手続きの流れ

ケースA 買取請求のお手続き

ご所有の単元未満株式を当社に対して買取のご請求をしていただく方法

手続き用紙に必要事項を記入し、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にてお手続きください(注)

(お手続きには、次のものが必要です)
●単元未満株式買取請求書

↓

書類点検などの後、単元未満株式の当社による買取が行われ、ご指定の送金方法により、買取代金をお支払いします。

ケースB 買増し請求のお手続き

単元株式までの不足分を当社に対して買増しのご請求を行っていただき、単元株式とする方法

【例】100株ご所有の株主さまが400株を買増して500株とすることができます

手続き用紙に必要事項を記入し、買増し概算金 [買増し請求株式数×株価(買増し請求日の前営業日の終値)×1.3倍]を添えて、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にてお手続きください(注)

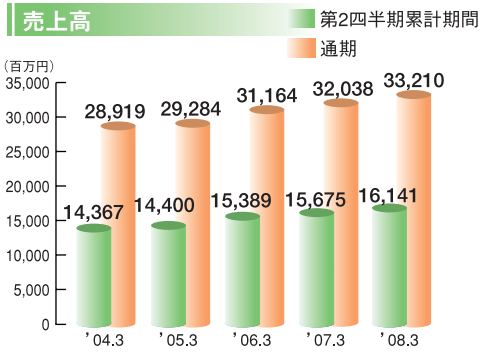
(お手続きには、次のものが必要です)
●単元未満株式買増し請求書 ●買増し概算金

↓

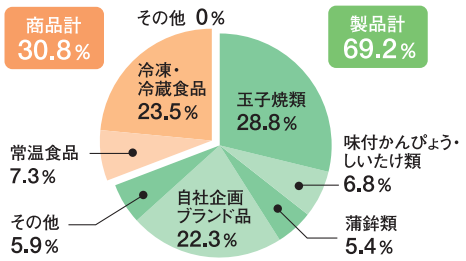
書類点検などの後、単元株式までの不足分について当社からの売渡しが行われ、株券が発行されます。なお、買増概算金から買増代金を差し引いた残金は、ご指定の送金方法により、返却いたします。

連結 業績の推移

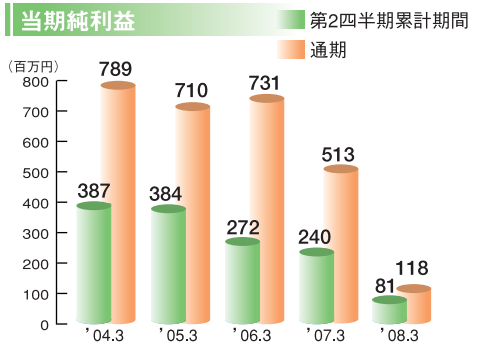
売上高



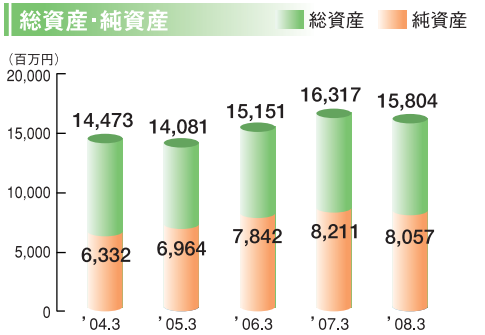
売上構成比（'08年3月期）



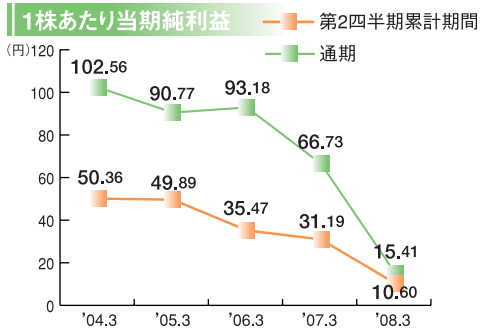
当期純利益



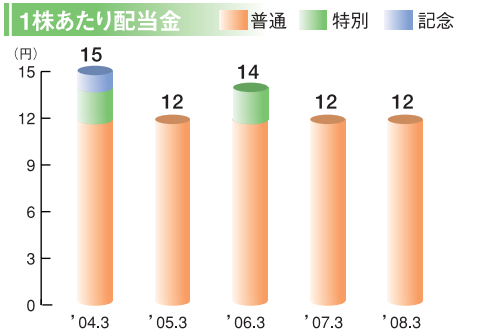
総資産・純資産



1株あたり当期純利益



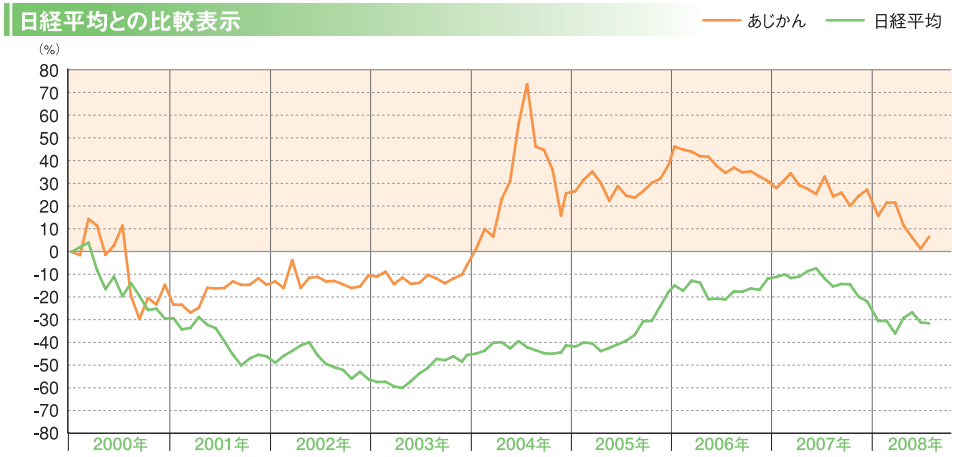
1株あたり配当金



株価・売買高の推移

証券コード：2907

日経平均との比較表示



■第1四半期　連結貸借対照表（単位:百万円）

科　目	当第1四半期末 2008年6月30日現在	前連結会計年度末 2008年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	7,607 ※1	7,605
現金・預金	1,246	1,395
受取手形・売掛金	3,748	3,892
商品	373	395
製品	1,222	1,292
原材料	688	435
仕掛品	8	6
貯蔵品	11	11
繰延税金資産	186	108
その他	144	85
貸倒引当金	△ 21	△ 19
固定資産	8,182 ※2	8,198
有形固定資産	6,112	6,105
建物・構築物	1,848	1,801
機械装置・運搬具	1,041	1,049
土地	2,958	2,958
その他	264	296
無形固定資産	671	707
ソフトウエア	611	643
その他	60	64
投資その他の資産	1,398	1,386
投資有価証券	605	580
繰延税金資産	25	37
その他	804	805
貸倒引当金	△ 36	△ 37
資産合計	15,790	15,804

科　目	当第1四半期末 2008年6月30日現在	前連結会計年度末 2008年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	6,301	6,009
支払手形・買掛金	2,718 ※3	2,440
短期借入金	2,120	2,220
未払法人税等	69	4
賞与引当金	443	229
役員賞与引当金	5	13
リース債務	193	190
その他	751	911
固定負債	1,574	1,737
長期借入金	875 ※4	990
退職給付引当金	97	109
役員退職慰労引当金	250	249
リース債務	350	388
負債合計	7,875	7,746
（純資産の部）		
株主資本	7,842	7,958
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	5,650	5,766
自己株式	△ 9	△ 8
評価・換算差額等	71	98
その他有価証券評価差額金	95	78
繰延ヘッジ損益	△ 2	△ 24
為替換算調整勘定	△ 20	44
純資産合計	7,914	8,057
負債及び純資産合計	15,790	15,804

※1 流動資産は、前連結会計年度に比べ2百万円増加しております。主な要因は、原材料の備蓄によるたな卸資産全体の増加、現金・預金の減少、季節的な売り上げ変動要因による受取手形・売掛金の減少によるものであります。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ、16百万円減少しております。主な要因は、減価償却費の進行によるものです。

※3 対象月の仕入増加に伴い、支払手形・売掛金が増加しております。

※4 約定返済を行ったことにより、長期借入金は減少しております。

■第1四半期　連結損益計算書（単位:百万円）

科　目	当第1四半期連結累計期間 2008年4月1日～2008年6月30日	前第1四半期連結累計期間 2007年4月1日～2007年6月30日
売上高	8,098 ※1	7,908
売上原価	6,340 ※2	6,036
売上総利益	1,758	1,871
販売費及び一般管理費	1,791	1,772
営業利益（△損失）	△ 32 ※3	98
営業外収益	74	74
営業外費用	32	20
経常利益	9	152
特別利益	3	-
特別損失	33	2
税金等調整前四半期純利益（△損失）	△ 21	149
法人税等	2	79
四半期純利益（△損失）	△ 23	70

※1 売上高は、中国製品の輸入制限などの影響はあったものの、8,098百万円となりました。

※2 売上原価については、主力製品である玉子焼製品や蒲鉾類の主原料である鶏卵や魚肉すり身の価格が上昇を続けており、企業のコスト削減努力の限界を上回る状況で推移しております。

※3 主要原材料価格の高騰に加え、原油・穀物価格高騰による関連仕入商材の値上がりや、配送燃料費・工場のユーティリティ費用の上昇などが大きく影響し、32百万円の営業損失となりました。

■第1四半期　連結キャッシュ・フロー計算書（単位:百万円）

科　目	当第1四半期連結累計期間 2008年4月1日～2008年6月30日	前第1四半期連結累計期間 2007年4月1日～2007年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	392 ※4	183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 164 ※5	△ 240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 366 ※6	△ 241
現金及び現金同等物の増減額	△ 149	△ 298
現金及び現金同等物の期首残高	1,385	754
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,236	455

※4 営業活動の結果得られた資金は、392百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純損失の計上21百万円や、通貨スワップ評価益59百万円などのマイナス要因もありましたが、運転資金の増加243百万円に加え、減価償却費151百万円や賞与引当金の増加214百万円などのプラス要因によるものです。

※5 投資活動の結果使用した資金は、164百万円となりました。これは主に生産設備の増強投資やメンテナンス投資、営業拠点の整備による投資などによるものであります。

※6 財務活動の結果使用した資金は、366百万円となりました。これは主に、長期借入金の約定返済115百万円、短期借入金の返済100百万円、配当金の支払85百万円、リース債務の返済47百万円などによるものであります。

注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

IR Information

株主メモ

■会社概要

商号	株式会社　あじかん　AHJIKAN CO.,LTD.
設立年月日	1965年3月19日
主要な事業内容	卵の加工製品・水産練製品等惣菜食品の製造販売業およびその他業務用食品の卸売業
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで

■株式の状況

発行済株式総数	7,700,000株
株主総数	1,316名
上場	1990年12月　東証2部、大証2部
証券コード	2907
単元株式数	500株

株主優待制度のご案内

毎年3月末現在、株主名簿に記載された株主のみなさまに、「自社取扱品の詰め合わせ」をご送付いたします。（株主のみなさまのお手元に届くのは、5月下旬頃となります。）

500株・・・・・・・自社取扱品の詰め合わせ **2,000円相当**

1,000株以上・・・自社取扱品の詰め合わせ **3,000円相当**

その他、
・企業広報誌『膳』（年4回発行）
・『あじかんオリジナルカレンダー』（年1回）
をご送付させていただいております。

● 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。●